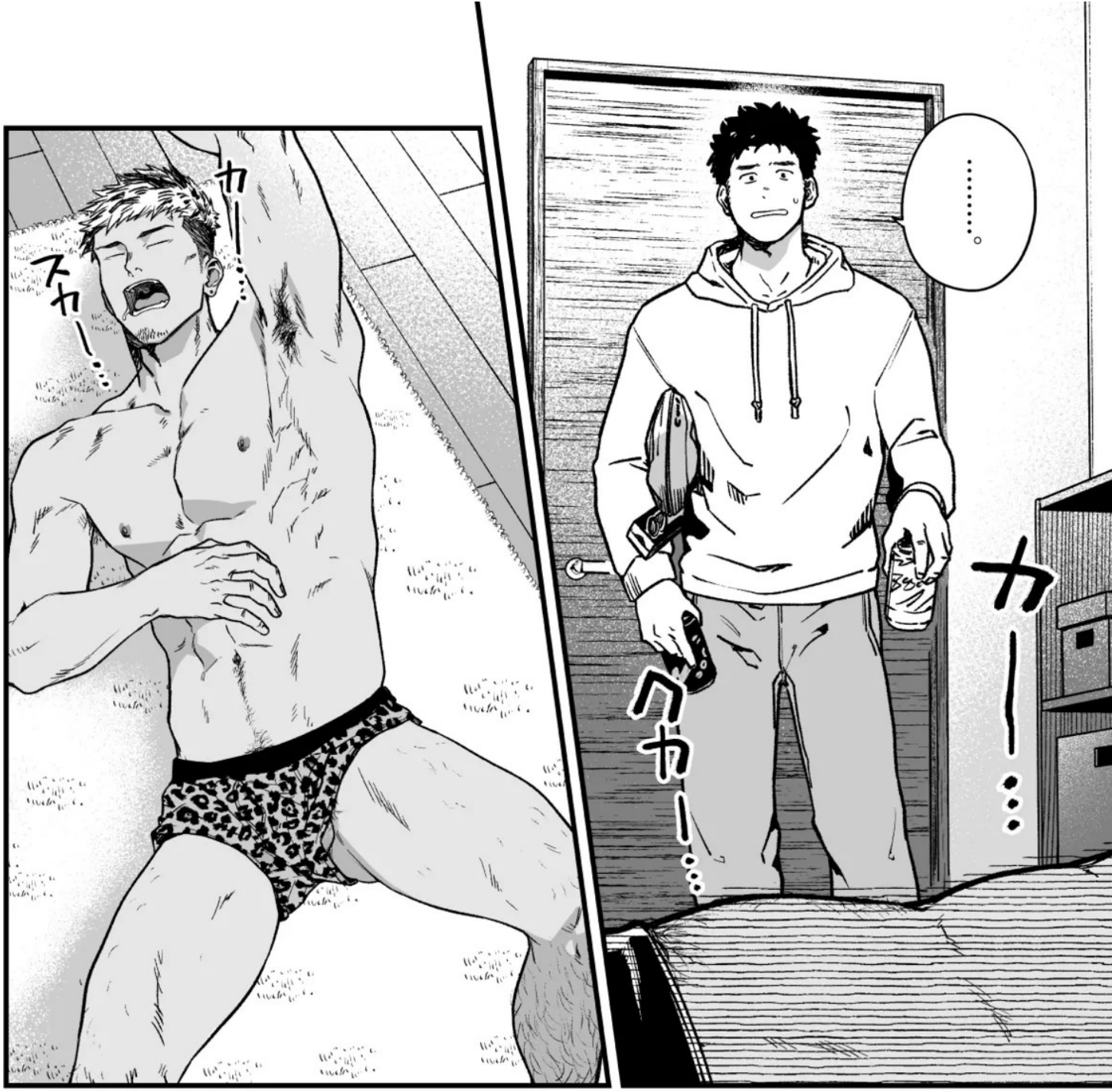
強面に湯かされる


これが見たかったんだろ？
色々混じって蒸れた濃いニオイがする
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の購入・閲覧禁止


……。
カー…
クカー…
カー…
スカー…

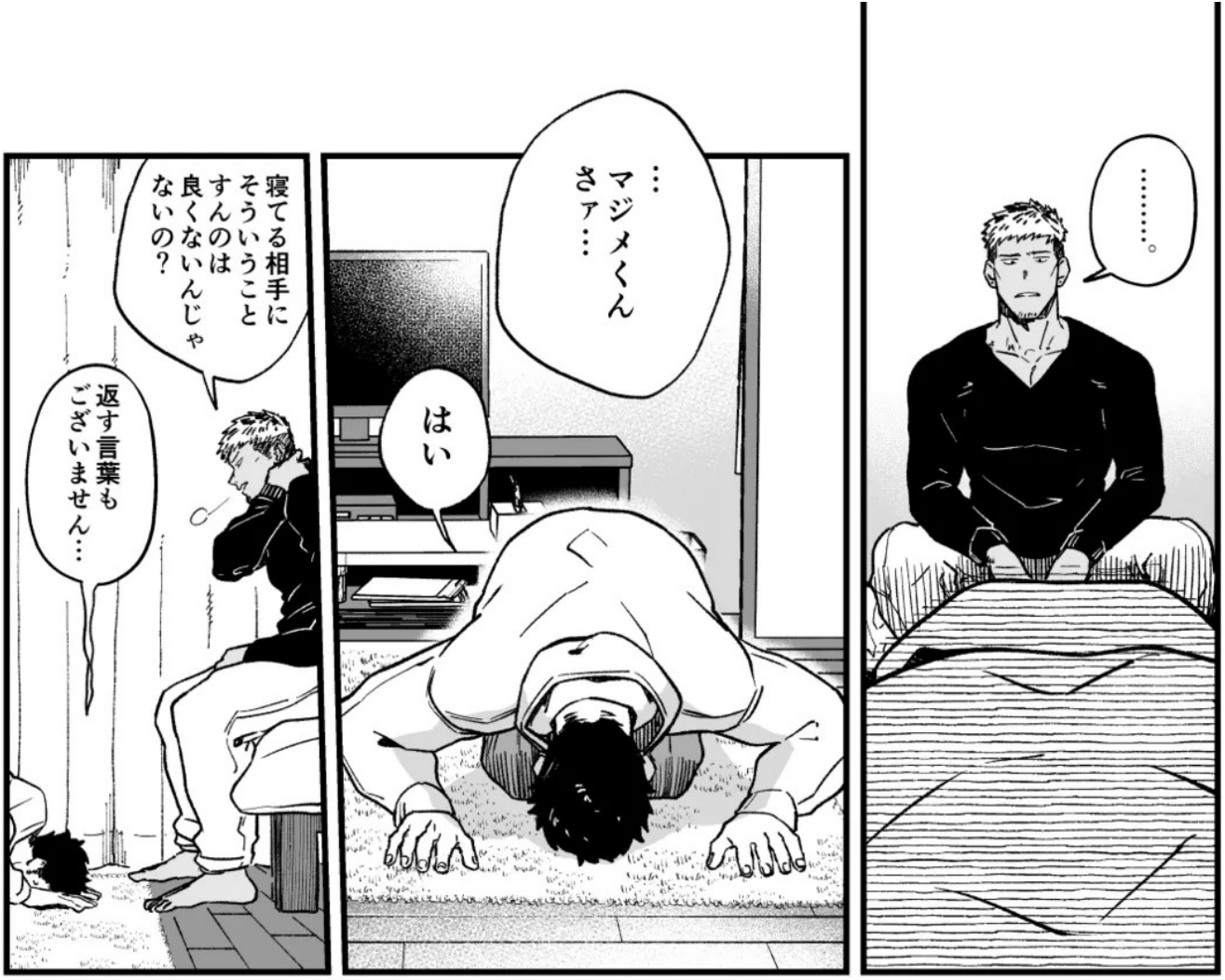

爆睡してんじゃん…


まだ食べるっつーから用意したのに…
こいつとは同じ大学で…

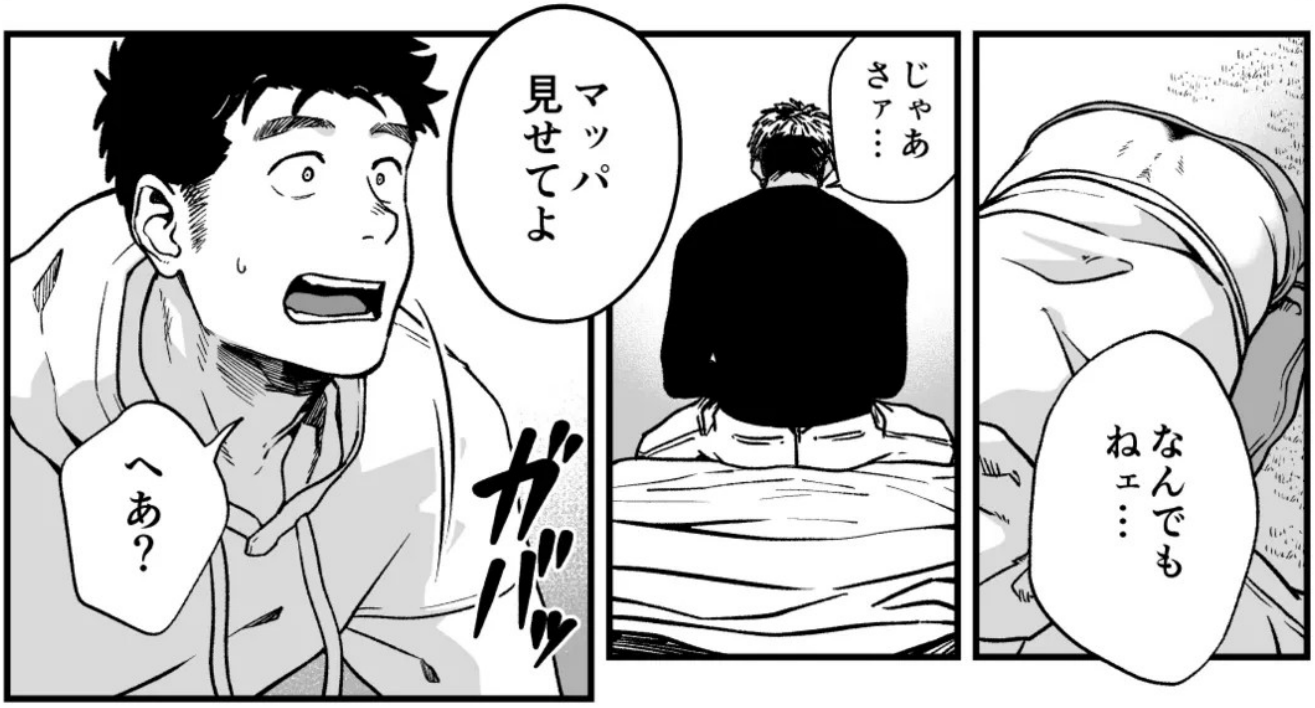

なんか妙に話しかけられて…
ここいい？
はぁ…
あのサークル
こえー…
名前なんて言うの？
まじ…ま
め…ん
です…
？
マジメくん？
まさかの同じ賃貸住みで…
気付けば部屋に居着かれて…
今日もマジメくんとこ行っていい？
「マジメ」じゃなくて真島…
入り浸りすぎだろ
マジメくんも迷惑なら断わんなよ？
真島です…
てか…
バサッ

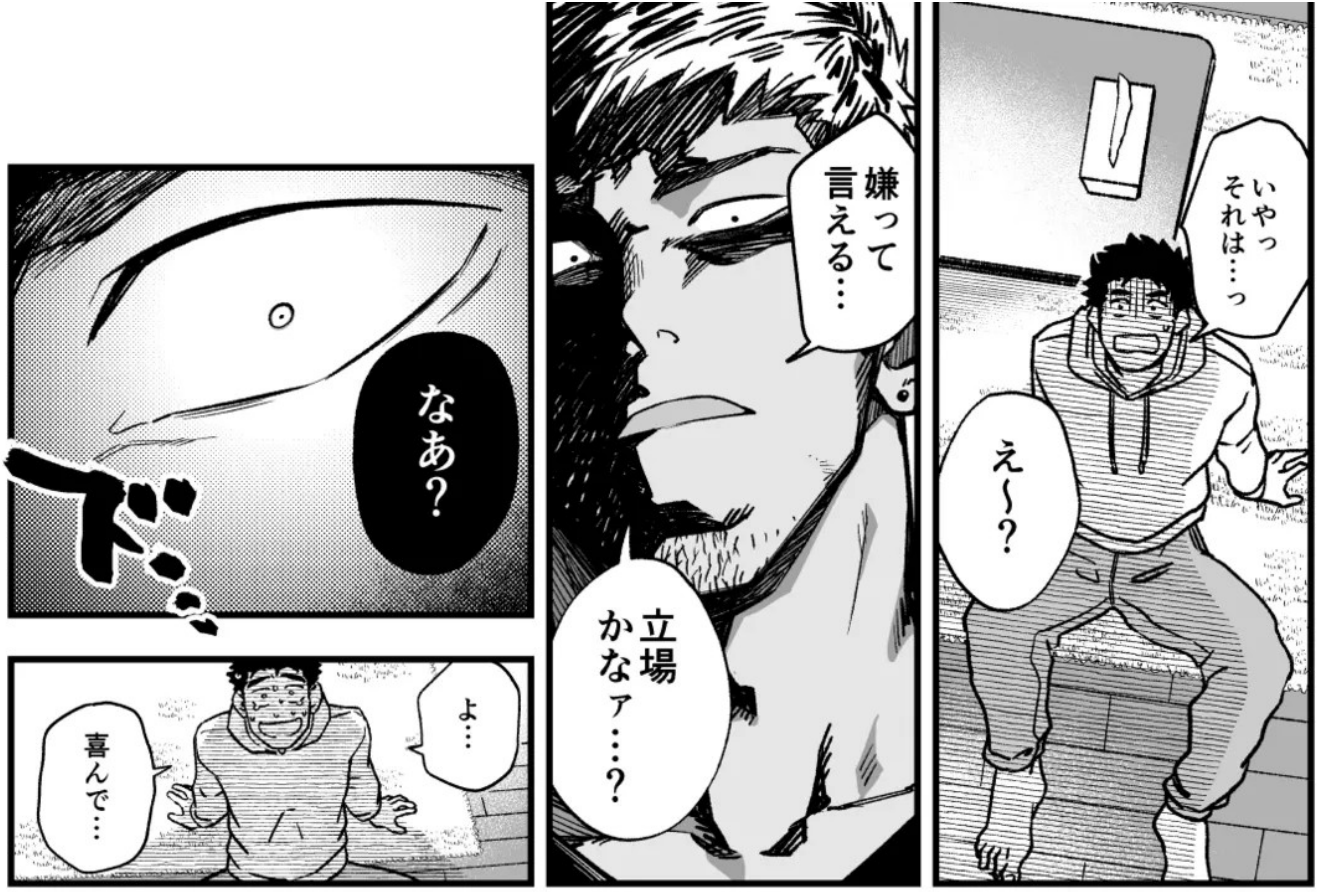

色々気にしなさすぎじゃねえ!?
クカー…
スコー…
ガバッ
陽キャはこれが普通なのか!?
……。


ちんこが、ある。
見たい…
ゴクッ…
いやいや
いや！
駄目だろ
それは！
いや、
でも…
別に
いいんじゃ
ないか!?
こうやって
集まんのは
いっつも
俺の部屋だし…
すすす…
今だって
片付けしたの
俺だし……！
ちょっと…
そ～～～…
チラっと隙間から
見るくらいの
ご褒美あっても…
なあ…
ビクッ
何してんの？
のぞ…
きゃあっ


……。
…
マジメくん
さァ…
はい
寝てる相手に
そういうこと
すんのは
良くないんじゃ
ないの？
返す言葉も
ございません…


俺に出来る
ことなら
なんでもする
から…
大学で
このことは
黙っていて
いただきたく…

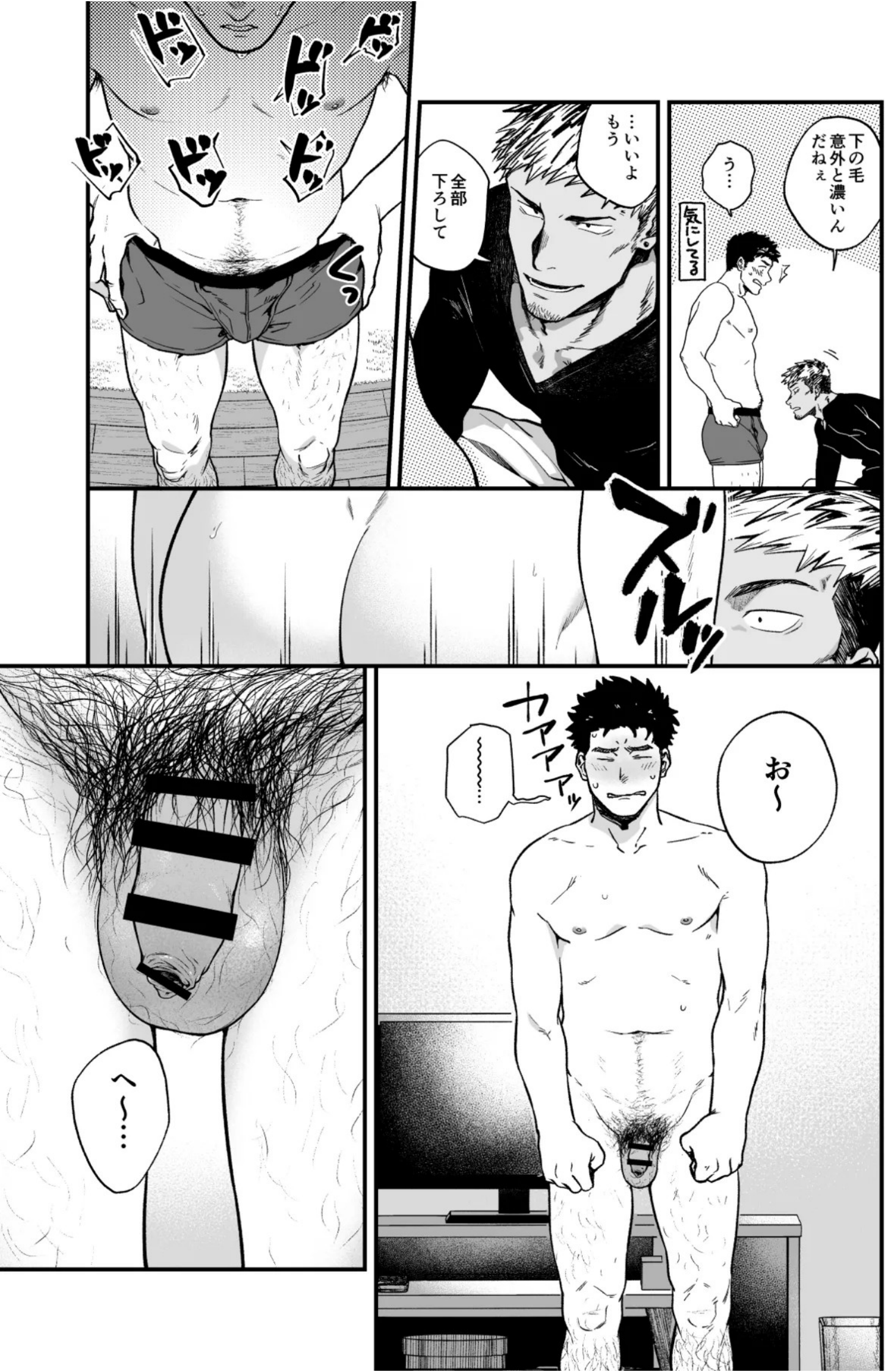

なんでも
ねェ…
じゃあ
さァ…
マッパ
見せてよ
ガバッ
へあ？

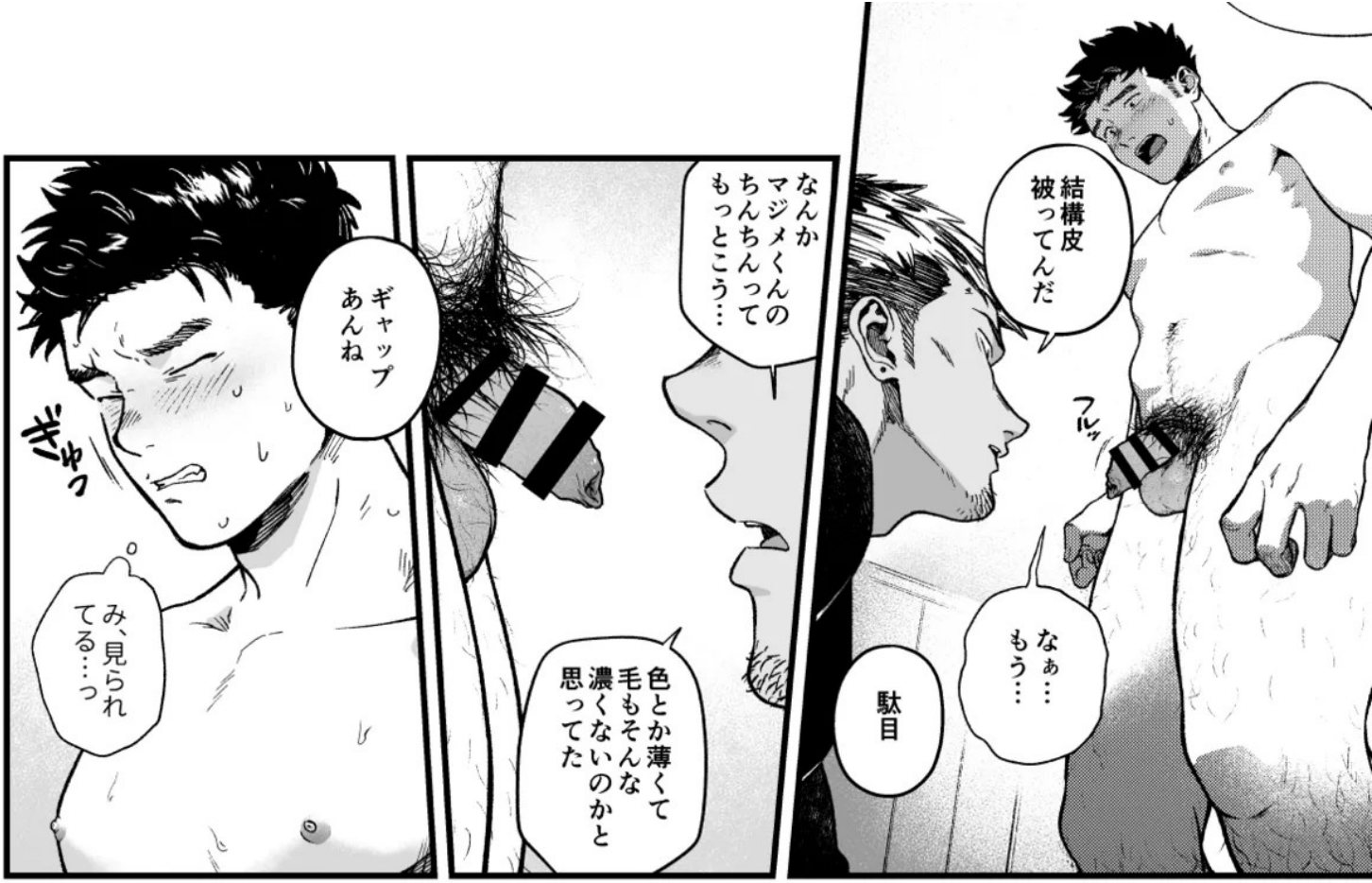

いやっ
それは…っ
え〜?
嫌って
言える…
立場
かなァ…?
なあ?
ど…
よ…
喜んで…


ゆっくり
脱いでな
ゆ…、
ゆっくり…?


ちら…
じっ…
ガン見
うっ…
今から
こいつの
前で…
素っ裸…?
どっ
どき
ドキ
ぐいっ


ぱさっ
お〜。
ゆっくりー
ゆっくり〜
ぐっ
おっ
ずるっ
あ、結構
着痩せする
タイプなんだね
…良い意味では
言ってないだろ
それ
ごめーん笑

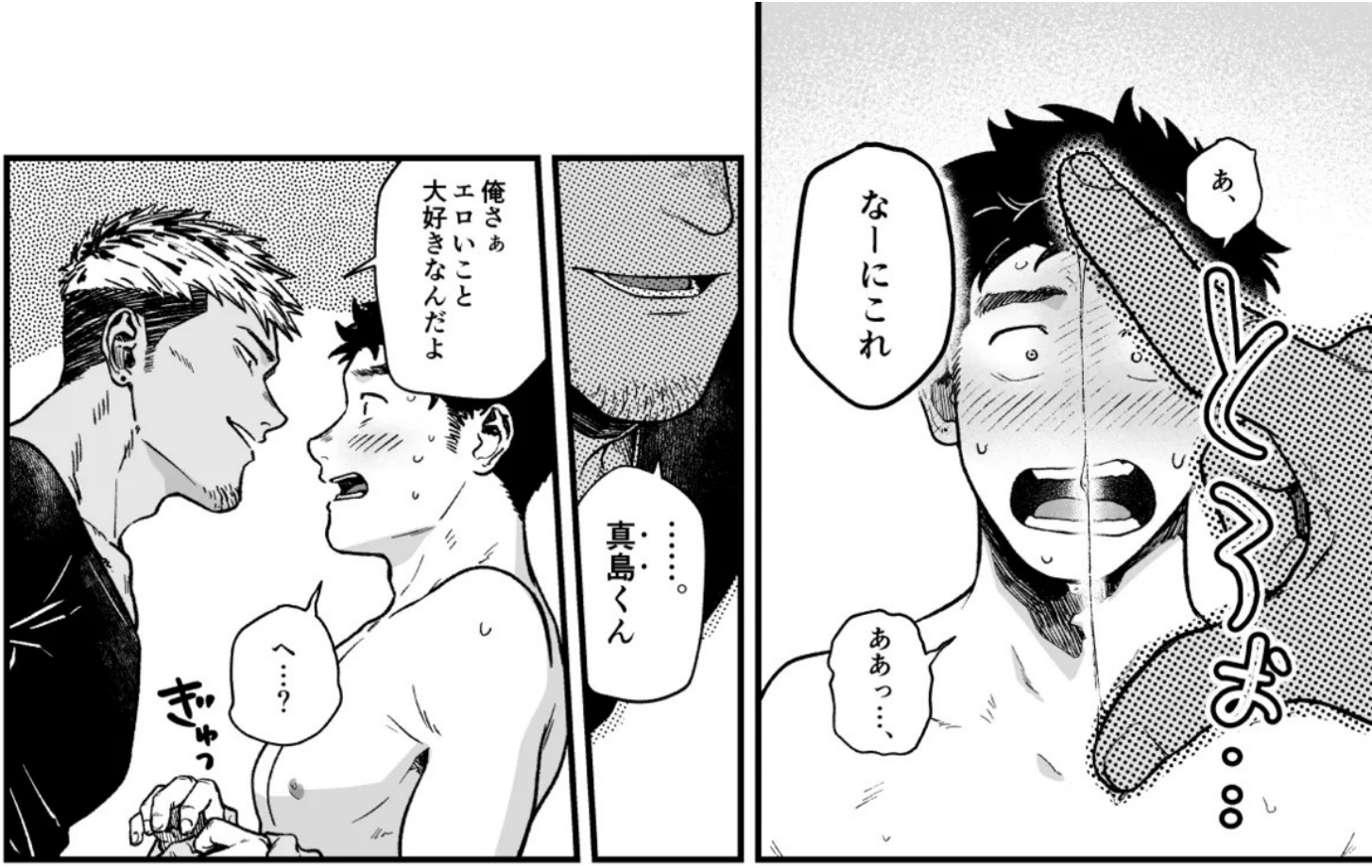

下の毛意外と濃いんだねぇ
う…
気にしてる
…いいよもう
全部下ろして
ドッドッドッドッドッ
ズルッ
お～
カアアアッ
……
へ～…


結構皮被ってんだ
フルッ
なぁ…もう…
駄目
なんかマジメくんのちんちんってもっとこう…
色とか薄くて毛もそんなに濃くないのかと思ってた
ぎゅっ
ギャップあんね
み、見られてる…っ


顔、近い…！
！
ピクッ
ピクッ
い、息が
ヘンッ
ヘンッ
当た――


あっ！
バッ
あ。
こらこら
ガシッ
ちょっ…、
やっ…！
ガガガガ


あ、
ビクッ
あぁ…っ
ビクッ
へ～。
見られて
興奮した？
違う…
ビンッ
ビンッ
違わない
べや～
…あ
ず
ん
？
へぇ…
マジメ君も
しっかり
男なんだねぇ
色々混じって
蒸れた濃い
ニオイがする
～～～っ!!!
アアアアッ
ビクッ
ビクッ
あ～っ
マジメく～ん
ビクッ
とぷ
つー
……
うひっ
…!?
ビクッ


あ、
なーにこれ
ええ…。
ああっ…、
俺さぁ
エロいこと
大好きなんだよ
……。
真島くん
へ…？
ぎゅっ


そんで俺、
男同士ってのも
フニ
スリ…
ちょっと
興味出たかも
しんない
え…

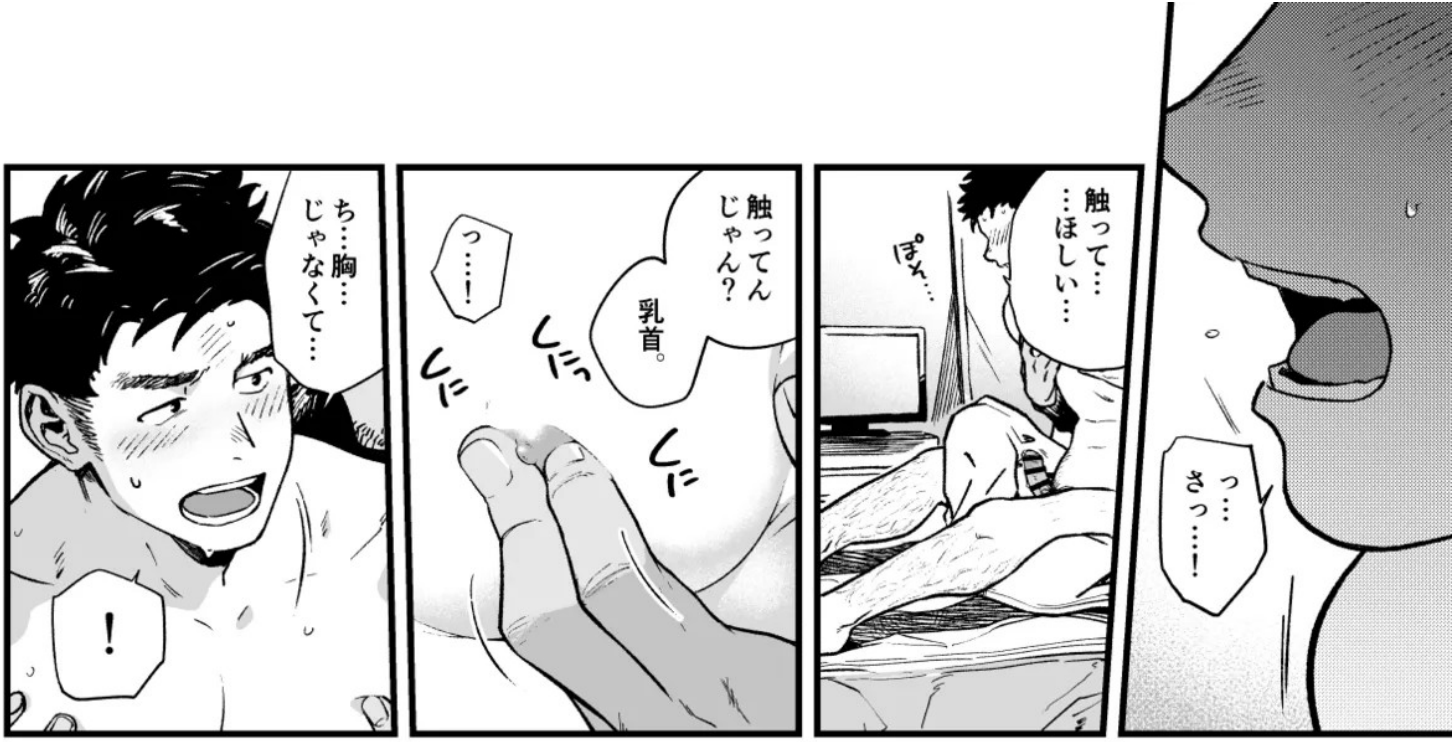

一晩、
真島くんの身体
好きにさせて
くれたら
へ…
今日の事は
許したげるよ
は、


てことで
ほら
ベッド行こ
ぐいっ
え、いや
ちょっと…
え？
拒否出来る…
立場
かなぁ…
ゴ…
いいえ。
あっ…
ん…
う…
ひ…
カリッ
カリッ
カリッ
っ
つ
ぷ…
っ〜〜〜
ピク
んんッ


おっ
硬くなってきた
いちいちっ…言わなくていい…！
なんかちっこくて可愛いサイズ感
だからそういうの言うなって言ってるだろぉ…！
今までの彼女…彼氏？はあんま触ってくんなかったの？
なかったよ！
こんな…ち、乳首ばっか…
あっ
我慢汁出やすい方？
下、ベットベト
し、らね…ッ
お前意地悪い…っ
え～？傷つくなぁ
あ、童貞じゃないんだ
どういう意味だよ！
ごめんちょっと意外だった


はっ
てか
じゃあ
もしかして…
はぁっ
あ〜
ぐちゅぐぷぐぷ
ビクッ
!?
あっ！え!?
ぐぽ
レロ
ぐぽ
なっなに!?
レ…
みつ…耳っ
舐められ
てる…!?
ぐぱっ
あっ
ぬぱっ
うぁっ
やっ
耳ってこんな…っ
あっ
あ…
…けど…っ


う…
んっ
もぞ
うぅ〜っ
もぞ
もぞ
プラッ
へっ
へっ
へっ
へっ
イキたい？
コクッ
コクッ
乳首だけじゃ無理？
むり…っ
…じゃあ
カリッ
カリッ
カリッ
カリッ
どうして欲しい？
!!!

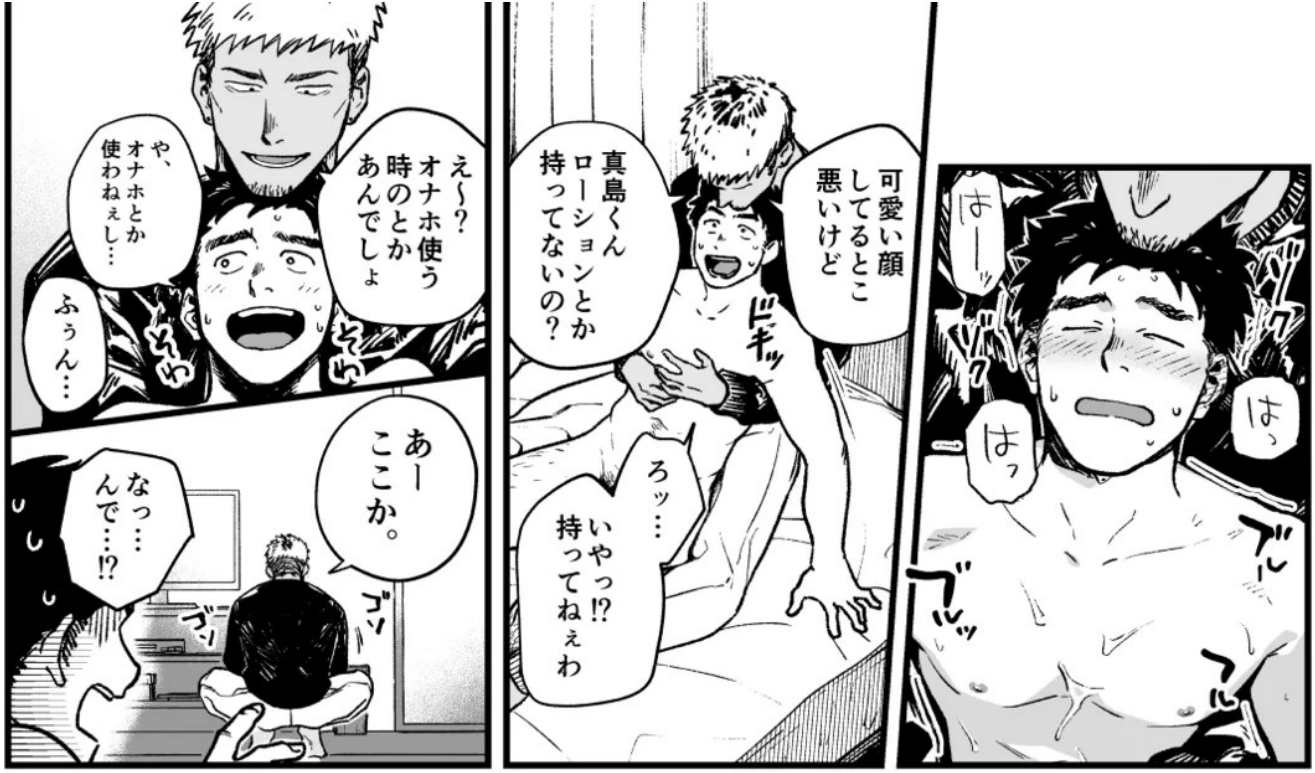

触って…
…ほしい…
ぽん…
っ…
さっ…!
触ってん
じゃん?
乳首。
くにっ
くに
っ…!
ち…胸…
じゃなくて…
!


ん?
~~~ッ
ち…
じっ…

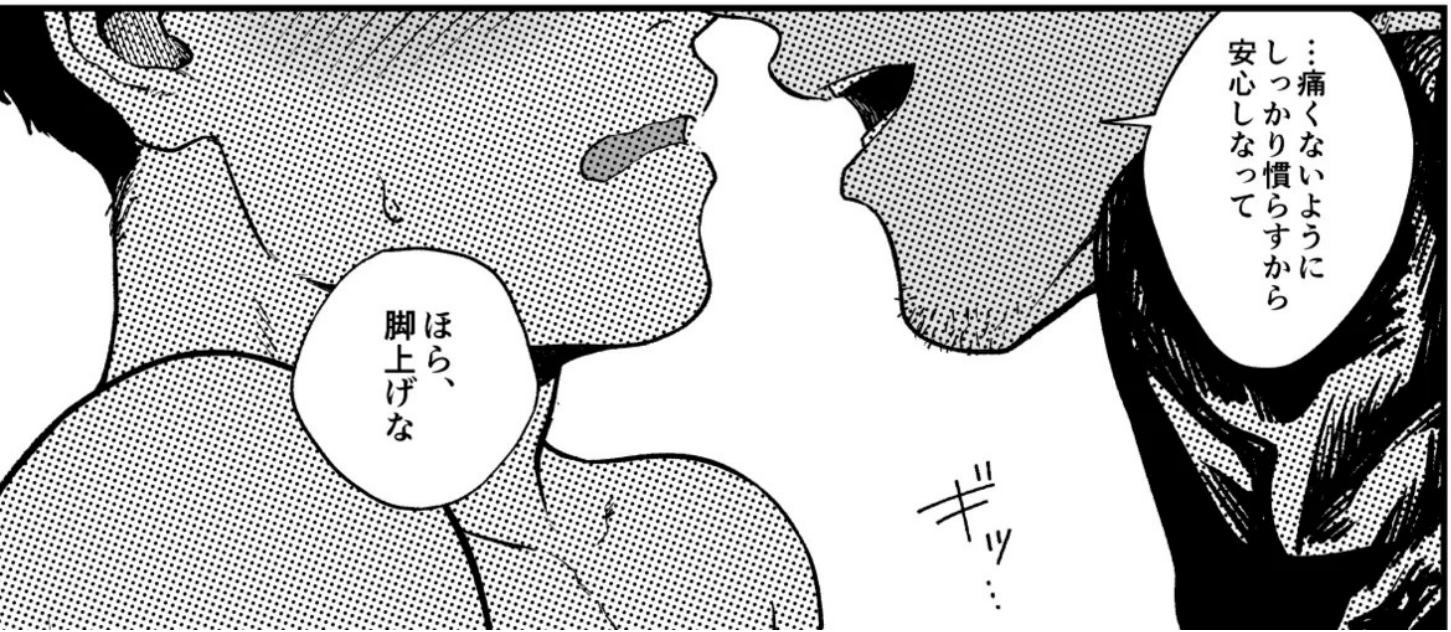

ちんこ…
かぁぁっ
さわって…
ほしい…
ゴ
ゾク
はい。
触った
ポーン
~~~


五十嵐…ッ
あ、怒った
でもなぁ
ちゃんと言ってくんないと
俺分かんねーかも
スル…
ちっ…
ちんこ…
ん～？
ちんこ!!
扱いてくれよぉ!!
ピッ
ピッ
えっろ～…
まぁでも…

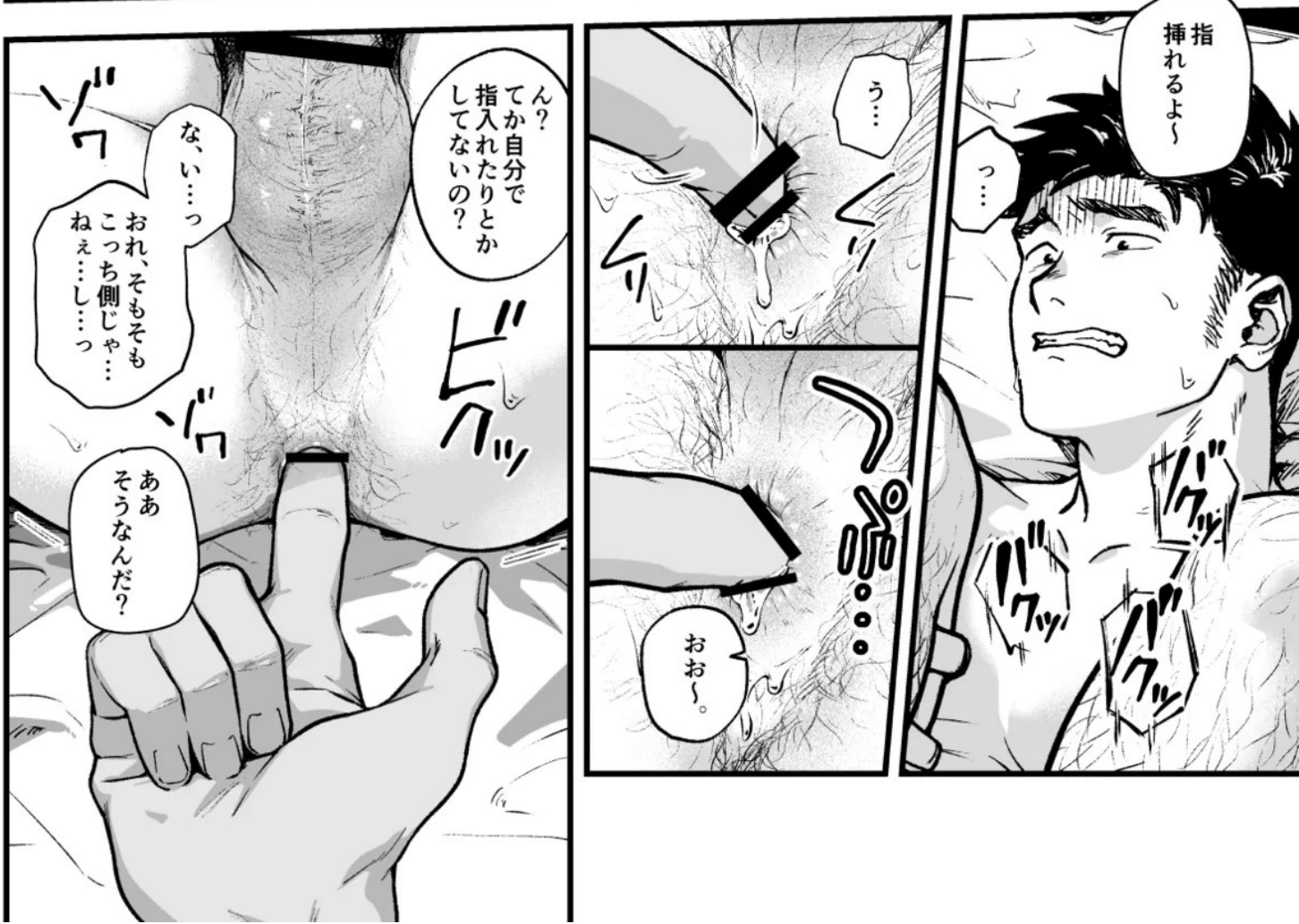

よく言えましたァ
あっ！
待っ…
でるって!!
おー 出せ出せ
マジで…っ
まっ…待って
出る出るでる
でる!!
んなっ
急にっ
まって
待てって!
ちょっ…出ちゃう
マジで…っ
ビクッ
もじっ
ぞっ
んうっ
ビクッ
ビクンッ
ぶたっ
ぶたっ
ぶたっ


はっ
はっ
ブルッ
ブルッ
可愛い顔してるとこ悪いけど
真島くんローションとか持ってないの？
ドキッ
ろッ…
いやっ!?持ってねぇわ
え～？オナホ使う時のとかあんでしょ
や、オナホとか使わねぇし…
ふぅん…
そわ
そわ
あーここか。
ゴソ
ゴソ
なっ…んで…!?


根本的に隠し事向いてないね
う…
ガサッ
あ、ゴムもあんじゃん
あ…
あぁ～…
諸々借りるよ
なぁ…本当に…
やるよ。
でも…
俺ぇ…
ギシッ


…痛くないようにしっかり慣らすから安心しなって
ほら、脚上げな
ギッ…


…ああ
そうそう…
その体勢
うぅ…
これ…っ
恥ずかし
すぎるっ…!
ガパッ
ヒクッ
ヒクッ
んな
ガン見
しなくても…っ
キュッ
見ないと
出来ない
でしょ
せめて
電気…っ
ひッ!?
消しま
せーん
ぬりゅ


指
挿れるよ〜
っ…
う…
ムリ
ムリ
バクッ
バクッ
バクッ
プッ…
おお〜。
ん?
てか自分で
指入れたりとか
してないの?
ビクッ
ゾワ
ゾワ
な、い…っ
おれ、そもそも
こっち側じゃ…
ねぇ…し…っ
ああ
そうなんだ?


男好きにも色々なんだねぇ
くちゅ
グチュ
1本、奥まで入ったけどどうよ？
なんか…変な感じがする…
くぷ
ちゅ
痛い？
痛くは…ない…けど…
ふぅん…
ぐっ
ぐに
ぐに
ほー…
つぽ
つぽ
うーん…？
？
ピクッ
ぐに
ぐに
おっ
トンッ
トン
!!!
ここかぁ？
ぐっ
ぐっ
ドッ
?!
ドッ
!?
ぶわっ
ドッ


なあっ…
そこっ…ちょっと…
痛ぇの？
もぞ
もぞ
コテン
ん…
…うん
分かりやす…
なるほどねぇ…
ぐちゃ
ぁ
ギッ
ぐちゃ
ギシッ
ぅ
ぐぽっ
ぐちゃ
ギッ
やっ
ぐぽ
ぐちゃ
ギッ
ぅ
ぐぽっ
あっ
ぅ〜〜〜っ
どくっ
どくっ
どくっ
ビンッ
ビンッ
ガクッ
ガク
ぐちゃ
ぐちゃ
ガク
もうっ…
いいってぇ！
あ〜？
しっかり慣らすって言ったじゃん
くちゅ
グチュ
くちゅ
グチュ
ビクッ


もっ…十分！
はぁ
はぁ
慣れたあっ!!
でもこれ気持ちいいっしょ？
ヘポ
くぽ
ヘポ
ヘポッ
っもうッ
いいっ！
って！
言ってるッ!!


やっ…
なんっ…
かッ…
ちゅ
くちゅ
うおっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ


なにこれイッてんの？
分かんっ…なっ…あぁっ!!!
すげ、ナカうねってる
キュッ
キュッ
あッ
あッ
キュッ
もっ…
無理ッ
無理いっ！
無理？
でもなぁまだちょっと慣らした方がいんじゃね？
なんでっ
おれ
むりって
ぐぽぉ
ん～…でもナカはまだ触ってほしーって言ってるけど
ぐぷ
ぐぷ
言ってないいいい


すご…
真島くん
才能あんじゃね？
ズル…
ビクッ
ビクッ
ビクッ


これが見たかったんだろ？
でッ…
か…
それに…

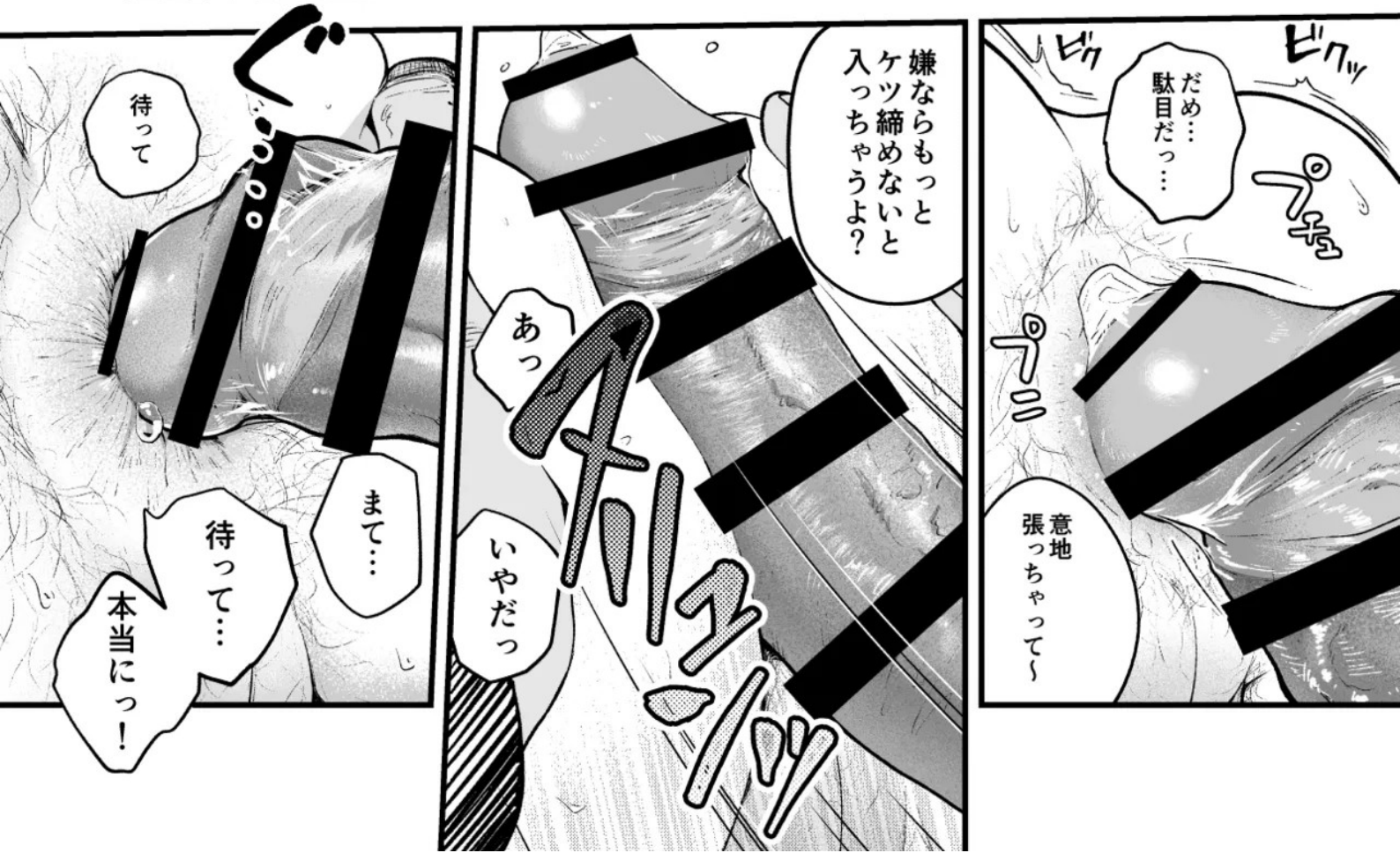

五十嵐も…今日まだ洗ってない…
匂いが…
すんっ
すんッ
むぁ…


う…
あっ…
ゴ…
ゴッ
ビク
ピクッ
ヒク
ヒク


じゃ、そろそろ本番行くか
待っ…
きょっ
今日は…もう…ま、また別の日に…
え？いやいややるよ？
ムニぽぉ
ヒクッ
ヒクッ
何のためにあんな時間かけてほぐしたと思ってんの
ほらっ
ズバッ
ぬわッ!?
見てみ


物欲しそうにしてるケツ穴をさ
!!
ヘコッ
ヘコ
ヘコッ
や、やめろっ
ガッ
自分のこんなとこ見たの初めて？
キュッ
ヒクッ
う、あ…っ
ポフッ
？…
あ…
ドア!!


てかさァ
真島くんも
分かってんでしょ？
はぁッ
はぁッ
今ここに
挿れられたら
絶対
気持ちいいって


ビクッ
ビクッ
だめ…
駄目だっ…
プチュ
プニ
意地
張っちゃって～
嫌ならもっと
ケツ締めないと
入っちゃうよ？
あっ
ズボボボ
いやだっ
まて…
待って…
本当にっ！
待って


えあっ
なっ
えっ
なんだこれ…
お…
すっご…
あ…
なんだ
これっ…!!
あっ
ゾクッ
ビク
ゾク
ズリ
ズリ
ズクッ
ズクッ
はっ
はぁ
はっ
はぁ…
まだちょっと
きついか
かなり
ほぐしたけど…
はっ
はぁ
馴染むまで
しばらく
このままな?
あ、あり…
がと…?
はっ
すり
すり
はぁ
はぁ


ありがたいけど圧迫感が凄い…ッ
ケツ穴熱い…！
ゆっくり息吸いな？
でも…さっき散々指で慣らされたから
あんま痛くない…？けど…
だからこそこの状態で止められるのは
むしろ…っ
ふっ…
真島くん腰、腰
えっ…!?
な、に…
え…
やらし～動きしてる
あっ…!!


早く動いて欲しいんだ～？
ちッ…が…!!
んな焦んなくても…
ぬぢッ
ゆっくり…な？
痛くねぇ？
こいつなんでこんな優しいんだよぉ～～～！
ドキ
ドキ
ん…
ほら、
ぇあっ
ここだろ？
うあぁっ
ガク
ぽたっ
ぽたっ


あとはここことか…
やっ…
それと～
あ～～～…
この辺かぁ～？
こいつ…！
滅茶苦茶ねちっこい!!
こらこら逃げんなって
変な声勝手に出る…！
恥ずかしい…！
恥ずかしいッッッ!!


ちんこ…
痛いくらい
勃起してる…
出したい
いい…っ
モゾ
モゾ
ズリ…
ズリ…
ズリ…
モゾ
ん？
あ、
こら
えぁ…？
ベッドにちんちん
擦り付けて
イこうと
してんな～？
あっ…
ブルッ
ブルッ
ごごご…
俺
さっき
みたいにさぁ


ケツで気持ちよくなってるとこ見たいな～
ヤッ…
ヌプ…
グイ
グイ
ピクッ
ピクッ
もっ…無理っ…
あれ…っいやだあっ
たんっ
プチュ
ぬぽっ
ヌッ…ポ
たんっ
プチュ
ぬぽっ
気持ちよさそうだったけ――
どっ！
ずろろろろ
にゅぽんっ
ハハハ
パンツ
そうなの？でもそれ以上に…

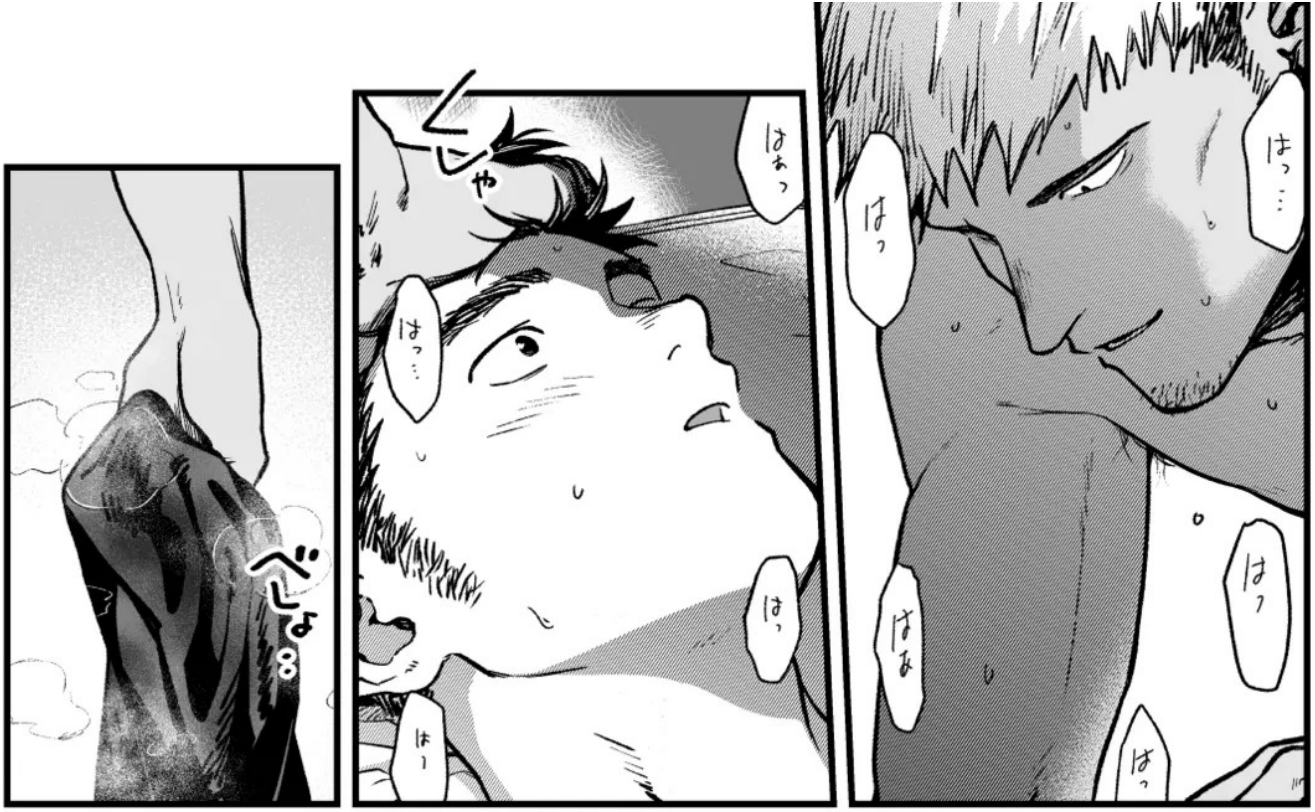

どちゅっ
どちゅっ
なあ
ここ
一番イイとこ
っしょ？
ぞくっ
ビクッ…
当てたげるから
ほら
頑張れ頑張れ！
そこっ
ぞくっ
嫌だあッ
本当にッ
ぞくっ
待っ…
五十嵐ぃ！
いまっ
おれ変っ…
精子じゃ
なくて
しょんべんっ！
ぷるっ
ぷるっ
じゅ
しっこ！
出そう
だからぁっ!!
えっ
マジ？
見たい
見たい


ぬぎっ
あーでも
マットに染みたら
やばいか
…あ
ばっかじゃ
ねーの!?
お前っ…
ギッ
本当っ
ギシッ
ギシ
馬鹿ぁッ!!
ギシッ
ギシッ

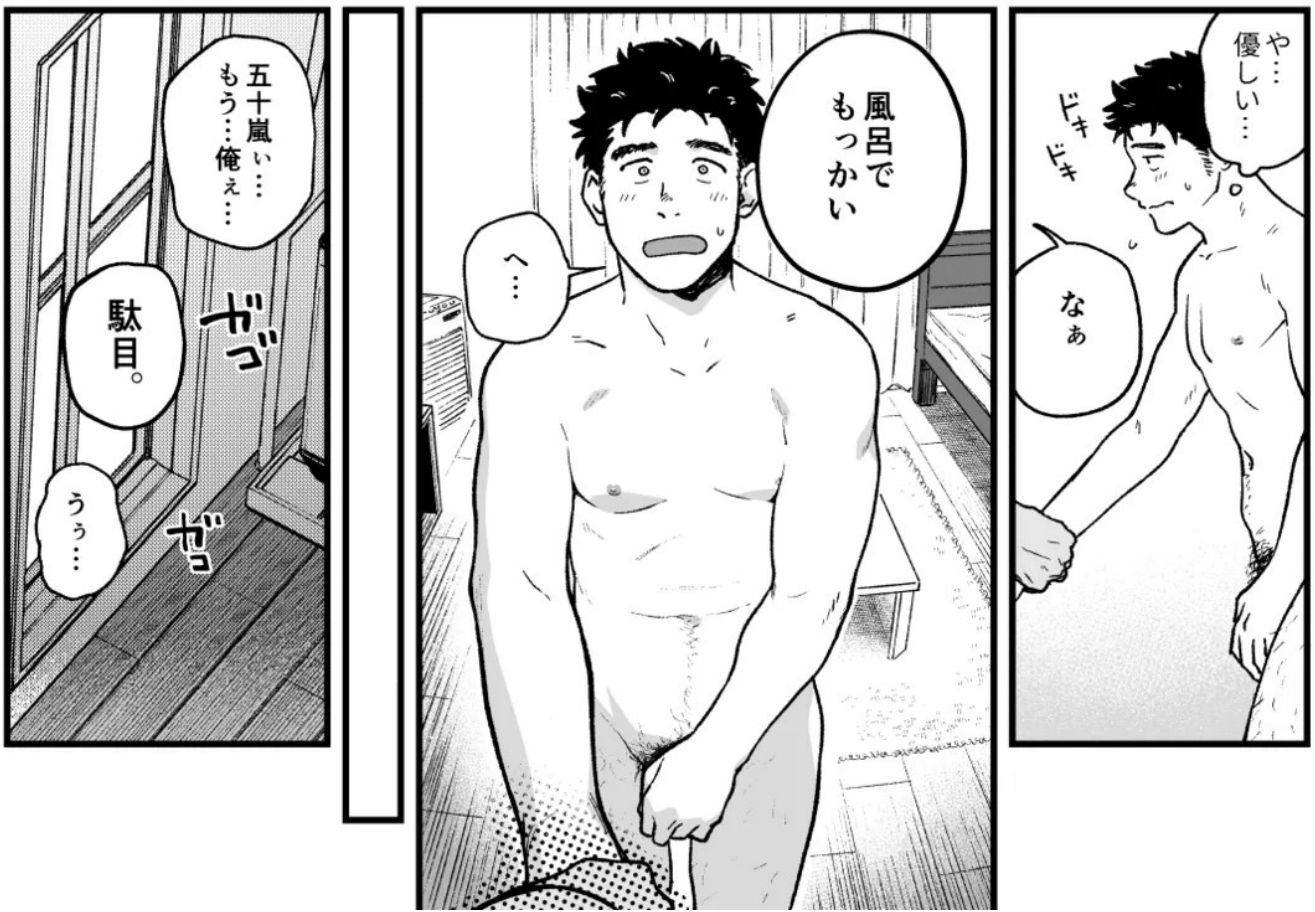

ここにしな
ばさっ
!?
五十嵐これ…っ
絶対高い
サー
!?
あっ
ああっ
ぶちゅっ
ふあっ
もっ…駄目っ…
見っ…
ポタ
ポタッ
あ…
じょおおおおおおおお
ああ～～…
見るな…っ見んなよぉっ
ゾク
もっ…止まんな…っ
ゾクゾク…
うぅ～…っ
もぁ…


あ～……
なまら
興奮する…
ぐっ…
ギシッ
あ～～…
上がって
きた…
ぐ…
ごめん
ちょっと
速くするわ
うッえひ
パ!!!
おおぉ!!!
パッ
パン
小便…っ
止まん
ないぃ…っ
出しな
いや
だぁっ
見るな
よぉっ
可愛いよ
出る…
出る
ビュルッ
ビュルルルッ
ビクッ
ビクビクッ
ドクッ
ドクドクッ
イクッ
あぁっ
あッ
はぁッ
はぁッ


はぁっ
はぁ
はぁ
ずろ…
五十嵐イってる…
ビクビクしてる…!!
ドクッ
ビクンッ
ビクッ
ビクッ
ビク


はっ…
はっ
はっ
はぁ
はっ…
はっ
はっ
はっ
ベシャ
ベシャ


これ
一旦洗面所
置かして
あ、
うん…
風呂
行こっか
ん…
すっ


や…
優しい…
ドキ
ドキ
なぁ
風呂で
もっかい
へ…
五十嵐ぃ…
もう…俺ぇ…
駄目。
ガゴ
ガゴ
うぅ…


ガコ
腕回しな
危ないから
ちょっ…
なにこの
体勢
ガタ
多分
こっちのが…
ぐっ
良いとこ
当たると
思うんだよ
な——
ぐっ…
——っと！
おおッ
ぐぐぐッ
ゴッ
ゴリュ
どう？
はッ
はッ
はッ
いがっ…いがらしっ
そこっ…俺…
だめ…だめ…ッ
ぼちゃトン


コクッ コクッ
駄目？
とんっ
とんっ
んー…じゃあ…名前、呼んでよ
へ…？
名前。俺の
呼んでよ名字じゃなくてさ
あ
あっ
あっ
ゴリッ
やばっ
ゴリュ
ごめんっ待った…
待って!!
まって…
パンッ
パチュ
ぐちゅ
たっ
たっ
たっ


悠人!!
ゆうとっ
なまえっ…呼んでるっのにっ
ゴリッ
ポッ
ポッ
ポッ
悠人おっ
マジでっ…だめ…ッ
はっ
俺さぁ…
駄目って言われるともっとやりたくなるんだよなぁ…！
ドンッ
パァン


変なとこっ
当だってる!!
だめッッ…
駄目だってッ!!
だったら
「駄目」じゃなくて
「気持ちいい」って
言わないと
はーッ
はーッ
やだやだじゃ
俺興奮しちまう
から
さぁっ
あっあっ!
動っ、くなぁっ
ぱんぱんっ
ぱんぱんっ
ぱんぱん


じゃあもっと当てたげないとなあ!!
お前…ッ
ははっ怒った!
怒るとますます可愛いなぁ!
ばちゅっ
あー…
俺も…もうイきそ…
!?
真島くんも一緒に…
な?
いっ?!


ちんこっ ちんこ もういいッ!!!
ケツっ…
ケツ 破れるって!!
怖…いっ!
怖くない
怖くない
あー…
イく…っ
イく…
ケツッ あづい
出るッ
イッ…


おっ…
おッ…
だぷっ
だぷっ
ブッ…
ハッ…
ゾクッ
ゾク
ブルッ
ドクンッ
ビュプッ
ビュプッ
ドクッ
ゾクッ
ゾク
ブルッ
ギュッ
ギュッ
ドヘッ
ドヘッ
ほっ
ほっ
ほっ
ほっ
ガヘッ
ビクン
ビクン
ガヘッ
ビクン
ビクン
いやー…
ガーッ


しょんべん
マットまで染みてなくて良かったねぇ
あの時…
俺言ったよなやめろって…
え～？
そもそも一晩好きにしていい約束だったじゃん
そっ…
それは…そうだっ…た
しお…
弱いな～
てか狭いし真島くん体こっち向きにしなよ
ザバッ
えっ!?
きもちーねぇ…
なんか…当たってんだけど…っ
ざばっ
なぁもう1回…
本当に死ぬって…
え～？
ぐぐ
しゃーないじゃんこんなくっついてたらさぁ
…明日なら…
いい…けど…
…最高ォ
ちょっ…明日！明日って言ってんだろ！
ざぱんっ
■おわり

pixivID 910500
twitter @kmkmk30

◆本作を作者の許可なく転載・複製・配布・販売することを禁じます。
◆この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件等とは一切関係ありません。


濃茶苦茶
ねちっこい!!
こらこら
逃げんなって
これが
見たかったん
だろ?
ッッ!!
でッ…
か…
それに…
色々混じって
蒸れた濃い
ニオイがする
見て
しっかり
慣らすって